

1 【一行アキ】

土木学会初代会長古市公威に関する研究*

【一行アキ】

A Study on Kimitake Furuichi - the First President of the Japan Society of Civil Engineers

5 【一行アキ】

四谷 太郎**

【一行アキ】

By Taro YOTSUYA

【一行アキ】

10 10行目までに題名、英文題目、著者名、英文著者名を
バランスよく配置して下さい。

Abstract(英文要旨)、または和文要旨(概要)
(審査付論文は英文)

5字空き

5字空き

15

本欄は、12~20行目までの間で
研究の背景・目的、手法・内容、結論の概要等を、
英文で100~250ワード、和文で200~500字、に要約してご
記入下さい。また、両側を5字程度空けて下さい。

20

23

本文は、約20~23行目から、始める。

25

2~3字
空き

29

新しい章に移る場合は1行空ける

章--- 1 2 ..

節--- (1) (2) ..

項--- a) b) ..

25

【2段組みについて】

片側25字 真ん中に2~3字空ける

2頁目からは同様に、2段組みにて作成

(25字×51行×2段、文字9ポイント)

30

【引用について】

他の論文や著作からの引用については、字体を変える
などにより著者の表現と明確に区別すること。

例

文章をそのまま引用する場合

引用文の前後を1行あけて、引用文を1字下げか

「 」などで囲む

35

【英文原稿の場合】

この見本に準じて下さい。

1段組も可とします。

40

引用文を本文中に記述する場合

引用文を挿入する場合はそれを「 」などで囲む。

著者の表現で記述する場合は不要。

45

いずれの場合も、必ず引用箇所の直後に()
内で引用文献を記すか、または参考文献の表記方法
に従って引用箇所末に番号を付し、引用文献を示す
こと。

脚注は罫線以下に記載する

49 *keyword : 土木学会、古市公威、人物史

**正会員 工博 土木大学教授工学部土木工学科

51 (〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地)

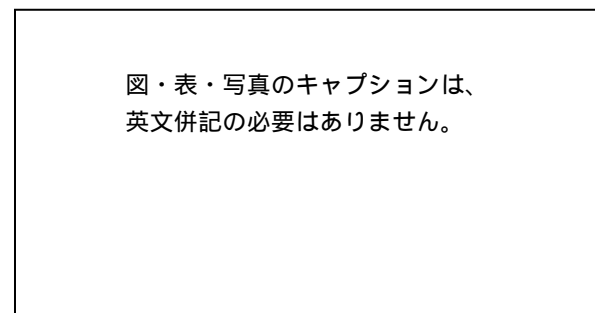
1 本文 2 段組み 25

2
3
4 表 1 AとBとの関係
5 (Table.1 Relation Between A and B)
6
7
8
9
10

	A	B

〔表のキャプションは、上に記載〕

15



図・表・写真のキャプションは、
英文併記の必要はありません。

25 写真 1 四谷の地下空間 (撮影 : , 1992)

(Photo. 1 Underground Space in Yotuya)

〔写真のキャプションは、下に記載〕

27
28
29
30

図・表・写真は、片段に納めていただきますが、文字が小さくなる場合は、
全段を使用して下さい。(空きへの文字の組み込みは、原則としてさけて下さい)。

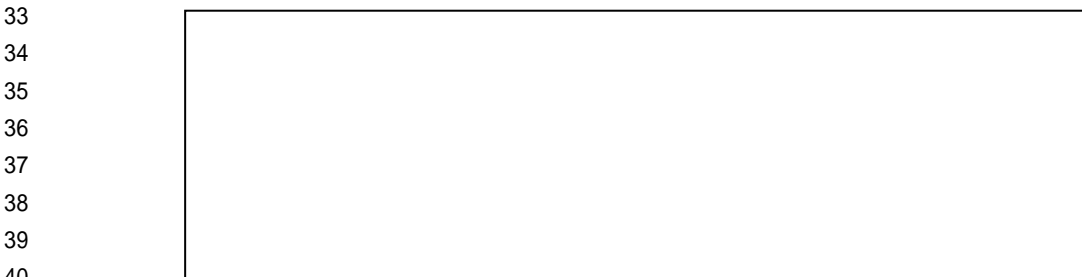


図 1 AとBとの関係 〔図のキャプションは、下に記載〕
(Fig. 1 Relation Between A and B)

41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

29

【参考文献について】

参考にした文献は、引用順に番号をつけて本文末

まとめて記載し¹⁾、文中にはその番号を右肩に示して²⁾、文末の文献と対応させてください。

参考文献

- 1) Lamb,H : Hydrodynamics,6th ed.,Cambridge Univ.Press , P.65 , 1964.
- 2) Miles,J.W. : On the generation of surface waves by shear flows , J.Fluid Mech. , Vol.3 , Pt.2, pp.185 ~ 204 , Aug.1957.
著者数が多い場合、第一著者に続いて、et al.と省略下さい。
- 3) 土木学会編 : 『ニュー frontier 地下空間』 , 技報堂出版 pp. 9 ~ 15 , 1990年.